

緑が丘

校訓
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」
学校教育目標
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

平戸市立田平中学校
学校だより第 6号
(令和5年5月)
文責 西澤 庄藏

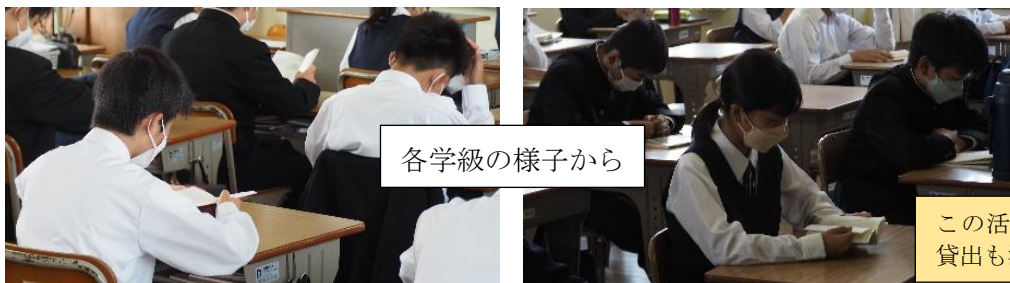


全国学習状況調査でも「読書」と「学力」との相関関係があることが実証されています。

今年度も始業前のルーティーンとして「朝読書」と称した取組を行っています。感受性豊かなこの時期、読書を通じて心を豊かにすることとともに、学習に臨む落ち着いた態度を養うことも目的として実践しています。本が「もう一人の先生」として学習活動の基礎となるよう学校をあげて支援していきます。

- 「みんなで」【生徒「みんなで」で行います。先生たちも朝読書に取り組みます。】
- 「毎朝」【「毎朝」継続することにより、自ずと読む力がつきます。】
- 「読み物を」【できるだけ学校図書館の本を（「読み物を」）を借りて読むこととします。】
- 「ただ読むだけ」【感想文や読書記録等、一切書きません。「ただ読むだけ」です。】
- 「すっきりと」【机の上には何も置かないこととします。「すっきりと」整えて読書に取り組みます。】

T-1 グランプリに代表されるタブレット端末の家庭への持ち帰りなど、デジタル化を推進しつつも、「活字離れ」につながらないように地道な取組も大切にしていきたいと思っています。



各学級の様子から



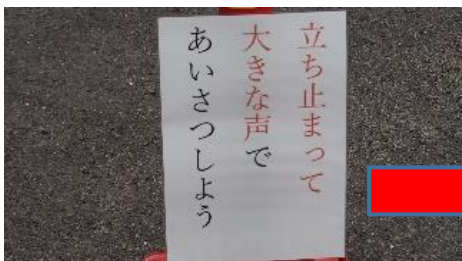
この活動を通じて学校図書館の利用・貸出も活発になることを願っています。

「コロナ」明けの重点努力事項として挨拶が飛び交う学校づくりを推進しています。

今年度は、「コロナ」明けに伴い、「田平中学校生徒の五励行」から、声を出す行い「心のこもった挨拶をする」「大きな声で校歌を歌う」の2項目を重点努力事項として（この紙面でも特集しているように）機会を捉えて啓発していくつもりです。

今回は、「心のこもった挨拶をする」に関して生徒の挨拶運動を（ほんの一端ですが）紹介します。本校では、「TAP」と称した挨拶運動を良き伝統として実践してきました。「TAP」とは「T=立ち止まって」「A=挨拶」「P=プロジェクト」です。この「TAP」を名実ともに継承するよう生徒会生活福祉委員会が中心になって挨拶運動を展開しています。（写真のとおり）朝の玄関前での運動とあいまって、多くの生徒が呼応して挨拶をしています。

人と人のつながりは、何と言っても、気持ちの良い挨拶から始まります。昨今、挨拶が日常の学校生活に浸透しているにつくづく実感します。今後は校外生活にも広がっていくことを期待したいものです。



【保護者の皆様へ】 田平地区ノーメディアデーの取組について

先日、生徒指導に関する会議で、ノーメディアデーの取組に関する再確認がありました。田平地区4小・中学校が足並みを揃えて毎週月曜日は、タブレット端末を用いての家庭学習を除き、スマホ（SNS）やゲーム利用を控えるとのことです。

よって、毎週月曜日、ご家庭で、お子様との会話に、このことも加えていただき、形骸化することがないように、夕刻の時間活用の見守りについてご支援・ご協力ください。よろしく願いいたします。